

## TDB 圏域別景気 DI (2021 年 4 月)

### 3 月より 65 圏域で改善の一方、56 圏域で悪化 ～ 2020 年 4 月より持ち直しも 2 年前の水準まで至らず ～

データソリューション企画部

池田 直紀

TDB 景気動向調査 (2021 年 4 月) の景気 DI は、前月比 0.3 ポイント増の 38.3 となり 3 カ月連続で改善した。まん延防止等重点措置の適用や 3 回目の緊急事態宣言の発出など、経済活動が抑制されたなかでの改善となった。海外経済の回復傾向により輸出が大きく増加したほか、半導体関連の業界が好調。他方、一部地域や業種で休業や営業時間短縮などの人流抑制措置はマイナスの影響となっていた。本レポートでは、全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割し、2021 年 4 月の圏域別景気 DI の動向把握に加え、2020 年 4 月と 2019 年 4 月の圏域別景気 DI との比較も行った。

#### 1. 「県南・天草」の景気 DI が 52.6 となり、130 圏域中トップ

TDB 景気動向調査 (2021 年 4 月) の景気 DI は前月比 0.3 ポイント増の 38.3 となり、3 カ月連続で改善となった。圏域別にみると前月から 130 圏域のうち 65 圏域で改善 (2021 年 3 月 105 圏域) し 56 圏域が悪化 (同 23 圏域) した。全体で景況感は改善したものの、4 割超の圏域で悪化がみられた。

また、景気 DI を 10 ポイント区切りでみると、50 台は 1 圏域 (同 0 圏域)、40 台は 44 圏域 (同 48 圏域)、30 台は 79 圏域 (同 78 圏域)、20 台は 6 圏域 (同 4 圏域) となった。

圏域別の順位は、熊本県八代市などの「県南・天草」が 52.6 で最も高い。企業からは「2020 年 7 月に大きな豪雨災害が発生し、その復旧工事が本格化してきていることから受注が旺盛となった」(一般電気工事、県南・天草) といった声が聞かれ『建設』がけん引役となっていた。以下、宮崎県都城市などの「<sup>みやこのじょうきたもろかた</sup>都城北諸県」(48.3)、埼玉県秩父市などの「秩父」(47.9)、岡山県津山市などの「美作」(47.2)、北海道旭川市などの「道北」(47.1) などが 40 台後半で上位に並んだ (表 1)。

#### 2. 圏域別の景況感、1 年前と比較すると持ち直すも、2 年前の水準には至っていない

次に、今回結果と、1 回目の緊急事態宣言が発出されていた 2020 年 4 月および新型コロナウイルスの影響を受けていない 2019 年 4 月の圏域別景気 DI を比較する (図 1)。2019 年 4 月は、インバウンド需要や建設需要が好材料となっていた沖縄県那覇市などの「県南部・宮古・八重山」が 64.0、同県沖縄市などの「沖縄中・北部」が 63.2 となるなど多くの圏域で 50 以上を記録し、30

<sup>1</sup> 企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出

を下回る圏域はなかった。

他方、2020年4月は、新型コロナウイルスの感染拡大にともない国民生活および経済活動に大きな影響を受け、一部を除き多くの圏域で景気DIは30を下回っていた。

今回の結果では、『建設』や『製造』などがけん引し、2020年4月と比較すると持ち直しがみられているが、2019年4月の水準には至っていない。特に2019年4月に景気DIが60を超えていた沖縄県の圏域は、「県南部・宮古・八重山」は30.7、「沖縄中・北部」は37.3とそれぞれ30台にとどまっており、企業からも「緊急事態宣言の後、人の動きがとまっており、消費に結びついていない」（清涼飲料製造、沖縄中・北部）といった厳しい意見があがっている。また、依然として30を下回る圏域も複数存在しており、景況感の回復には圏域間でばらつきがみられている。

表1 2021年4月の圏域別景気DI（上位10圏域）

2021年4月調査 - 上位10圏域 -				
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	熊本県	県南・天草	八代市・天草市	52.6
2	宮崎県	都城北諸県	都城市・日南市	48.3
3	埼玉県	秩父	秩父市	47.9
4	岡山県	美作	津山市・真庭市	47.2
5	北海道	道北	旭川市・稚内市	47.1
6	長野県	諏訪・上伊那・飯伊	飯田市・諏訪市	45.4
7	秋田県	秋田県北	能代市・大館市	45.0
8	長野県	佐久・上小	上田市・佐久市	44.6
9	北海道	十勝	帯広市	43.8
9	高知県	高知東部	南国市・室戸市	43.8

図1 圏域別景気DI（2019年4月・2020年4月・2021年4月）

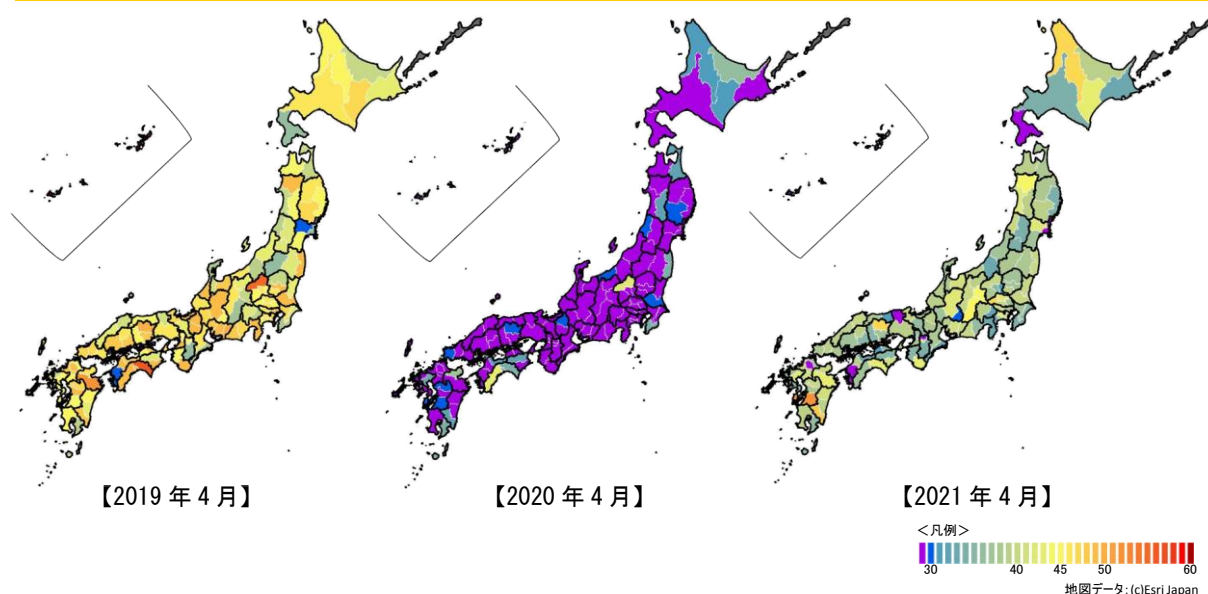


表2 圏域別景気DI (2019年4月・2020年4月各月の上位10圏域)

2019年4月調査 - 上位10圏域 -				2020年4月調査 - 上位10圏域 -					
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI	順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	沖縄県	県南部・宮古・八重山	那覇市・宮古島市	64.0	1	高知県	高知西部	土佐市・四万十市	43.6
2	沖縄県	沖縄中・北部	沖縄市・うるま市	63.2	2	群馬県	吾妻・利根沼田	沼田市	42.4
3	高知県	高知東部	南国市・室戸市	56.7	3	大分県	大分東部・北部	別府市・中津市	37.7
4	群馬県	吾妻・利根沼田	沼田市	55.6	4	高知県	高知市地域	高知市	36.4
5	大分県	大分中部・南部・西部	大分市・佐伯市	53.0	5	北海道	オホーツク	北見市・網走市	36.1
6	岡山県	美作	津山市・真庭市	50.9	6	高知県	高知東部	南国市・室戸市	34.7
7	愛知県	東三河	豊橋市・豊川市	50.3	7	福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	34.6
8	秋田県	秋田県北	能代市・大館市	50.0	8	千葉県	千葉南部	木更津市・館山市	34.4
8	福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	50.0	9	鹿児島県	大隈・奄美・熊毛	鹿屋市・奄美市	34.1
8	福井県	嶺南	敦賀市・小浜市	50.0	10	佐賀県	佐賀南部	佐賀市・鳥栖市	33.3
8	岐阜県	中濃・飛騨	可児市・高山市	50.0					
8	和歌山県	和歌山南部	田辺市・新宮市	50.0					
8	徳島県	徳島南部	阿南市	50.0					
8	高知県	高知西部	土佐市・四万十市	50.0					
8	福岡県	筑豊	直方市・飯塚市	50.0					

## まとめ

本レポートでは、2021年4月、2020年4月および2019年4月のTDB景気動向調査を用いて、全国を130圏域に分割して圏域別の景気DIを算出し、特徴を捉えた。

2021年4月は、「県南・天草」で52.6を記録するなど半数の圏域で前月から改善がみられたものの、4割超の圏域は悪化となった。

また、2020年4月および2019年4月の圏域別景気DIと比較すると、1年前からは多くの圏域で持ち直しがみられている。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受けていない2年前の水準までには至っていない。「県南・天草」や「都城北諸県」、「秩父」などで景況感が高まりつつあるが、2年前には60を超えていた沖縄県の圏域は30台で停滞するなど、景況感の回復にはばらつきがみられている。

130の圏域を俯瞰すると景況感の回復には地域差が生じている。引き続き、各圏域の動向について注視する必要がある。

### 【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

池田 直紀

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方はQRコードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。